

南九州市名誉市民称号の記授与式



▲赤崎勇氏へ「南九州市名誉市民称号の記」が授与されました。

赤崎氏へ鹿児島市民栄誉賞および県民栄誉表彰が授与されました。

また、この日は赤崎氏へ鹿児島市民栄誉賞および県民栄誉表彰が授与されました。

「赤崎先生のご努力に深甚の敬意を表しますとともに、南九州市の若い世代に大きな希望と夢を与えてくださったことに対しまして感謝します。今後、南九州市から第二の赤崎博士が誕生するのではないかと期待しています」と述べました。

これは昨年12月12日、赤崎勇氏のノーベル物理学賞受賞に対し、その功績と名誉を称え南九州市名誉市民の称号を贈ることで議決されたことによるもので、式では赤崎氏へ「南九州市名誉市民称号の記」、「南九州市名誉市民章」の授与および記念品が贈呈されました。

高輝度青色発光ダイオード(青色LED)を世界で初めて発明し、昨年その功績が認められ、ノーベル物理学賞を受賞された本市出身の赤崎勇氏へ、南九州市名誉市民の称号を贈る授与式が、6月25日、鹿児島市の城山観光ホテルにおいて執り行われました。



▲式典終了後の記念撮影。

念に耐えませぬ。今は亡き両親もさぞ感激していることと存じます。最後に南九州市の方々のますますのご健勝と南九州市の今後の一層のご発展をお祈りいたします。

ただいま栄誉ある南九州市名誉市民章を賜り、誠に光栄に存じますとともに、豊かな自然に恵まれ人情味溢れる南九州市に生を受けたことの幸せを今噛みしめております。また、記念品として南九州市の伝統工芸であり、ます川辺仏壇の技法を駆使し、赤崎家の家紋と私が関わりました青色LED入りの神輿については、10人の伝統工芸士の方が3カ月半もかけて、すべて手作りしていただいたと伺い、感激の念に耐えませぬ。今は亡き両親もさぞ感激していることと存じます。

ただいま栄誉ある南九州市名誉市民章を賜り、誠に光栄に存じますとともに、豊かな自然に恵まれ人情味溢れる南九州市に生を受けたことの幸せを今噛みしめております。また、記念品として南九州市の伝統工芸であり、ます川辺仏壇の技法を駆使し、赤崎家の家紋と私が関わりました青色LED入りの神輿については、10人の伝統工芸士の方が3カ月半もかけて、すべて手作りしていただいたと伺い、感激の念に耐えませぬ。今は亡き両親もさぞ感激していることと存じます。

赤崎勇氏のあいさつ



赤崎 勇氏

名城大学終身教授
名古屋大学特別教授・名誉教授
愛知県名古屋市 在住



▲製作の中心を担った芝原重志さんは、「名誉ある仕事に携われた。来年は、伝統工芸品国指定40周年の節目でもあり、弾みが付きます」と話しました。



▲記念品として贈られた川辺仏壇の神輿に見入る赤崎勇氏夫妻。

▶南九州市名誉市民章には、市の花「ひまわり」と市章を、上部には市の木「お茶」の葉とお茶畑をデザインしています。



▶称号の記および漆塗箱の「南九州市名誉市民章」の文字は本市出身で元鹿児島県書道会会長の松清秀仙氏に書いていただきました。

